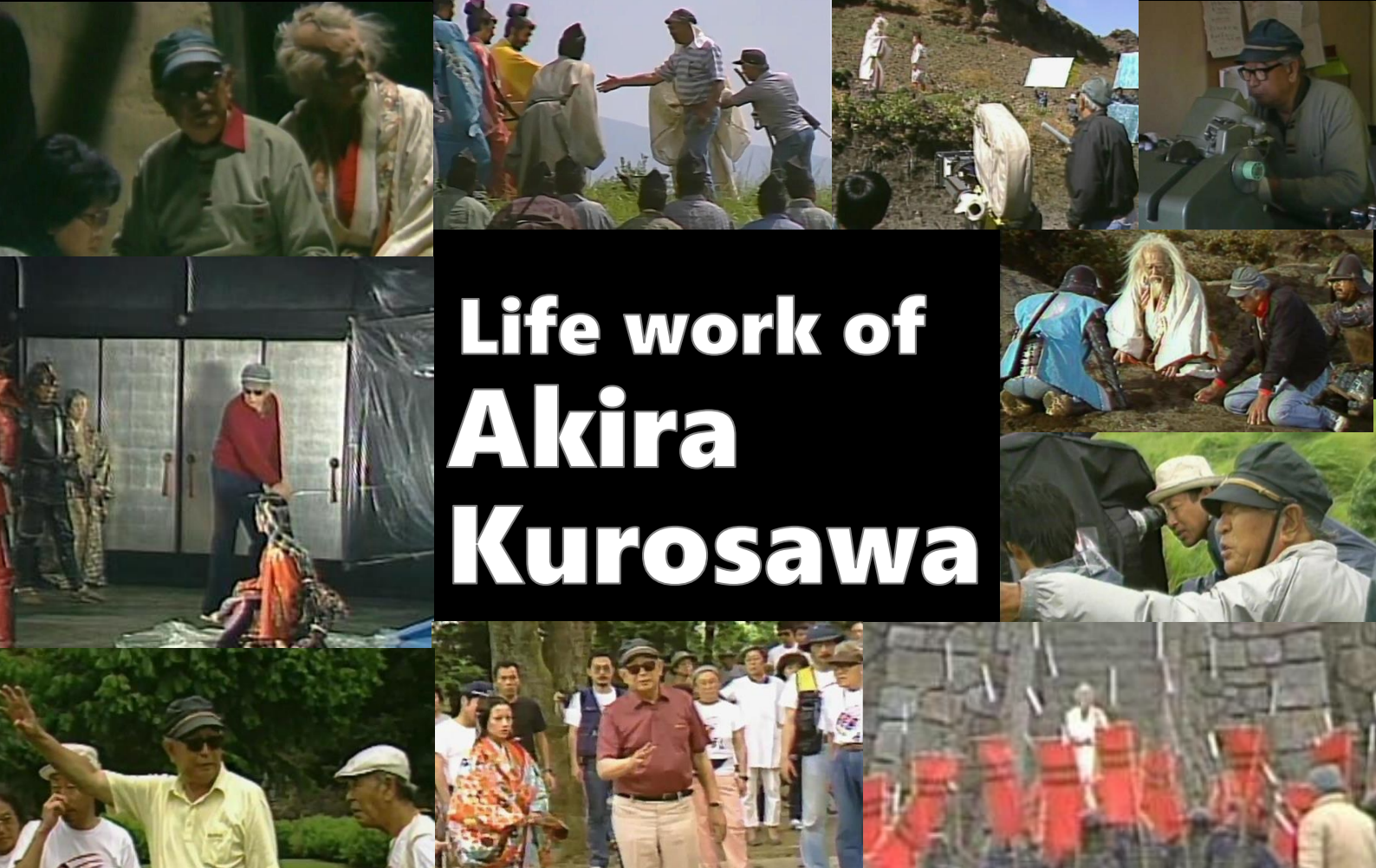




Life work of Akira Kurosawa

学生のビデオカメラが記録した真の監督の姿

黒澤明監督「乱」撮影記録 - 38年越しのデジタル化 -

中山市朗氏が企画した1984年-1985年、黒澤プラダクションとヘラルド・エースに撮影・編集・公開許可を得て、大学生だった河村光彦監督と仲間たちがメイキング撮影班として、『乱』撮影を全150時間に及んで記録。

撮影完了後、不幸が重なりその映像は15年もの間失われていたが、約半分の素材を1998年に発見した。旧式の業務用アナログビデオで撮影された素材は、再生機が製造中止のため、内容が確認出来ず長らく保管されていたが、河村監督が私費を投じて何とか70時間分をデジタル化。38年の歳月を経てようやく1本のドキュメンタリー映画に仕上げた。河村監督は「乱」が製作された1984年当時大学生でありながら、黒澤組の熱い撮影現場を体験したひとり。

この作品は黒澤明監督を知らない世代の共感共鳴を得ると信じて、作成された。

映倫「次世代への映画推薦委員会」
2022年10月推薦映画

故黒澤明監督は、1998年に国民栄誉賞を受賞。

海外では現在も黒澤明監督の人気・評価は高く、若い世代にもブームが起きている。しかし、日本においてはその人物像について誤解された印象で語られることが多く、穏やかで優しい物言いをする演出家だったと知る人は少ない。

本作では、映画「乱」の製作過程を通して、そんな人間 黒澤明の姿を紹介する。



イギリス・ロンドン国際月例映画祭: 特別名誉賞

ウクライナ・オニコフィルムアワード: ベストドキュメンタリー映画賞

イタリア・ニューヨークネオリズム映画祭: ベストドキュメンタリー映画賞

インド・ブルーズドルフィンズ毎月オンライン国際短編映画祭: 最優秀監督賞

イギリス・スタンリーフィルムアワード: 最優秀ドキュメンタリー短編映画賞

イタリア・ミラノゴールドアワード: ドキュメンタリー短編映画・特別賞

アメリカ・ニューヨーク映画祭: ドキュメンタリー短編映画・特別賞

ブラジル・T.I.F.A. - テイエテ国際映画祭: ドキュメンタリー短編映画・アンフマ銀賞

日本・東京ショーツ: 最優秀ドキュメンタリー短編映画賞

インド・ブルーズドルフィンズ毎月オンライン国際短編映画祭本選: 最優秀監督賞

*海外版・短縮版含む いずれも2022年



～秦野市市制施行70周年記念～

本町公民館映画上映会

10月18日(土)

【午前の回】午前10時～正午

【午後の回】午後2時～4時

開場は各回30分前から

定員: 各回100人(当日先着順)

参加費: 500円

会場: 本町公民館 多目的ホール

(秦野市入船町12-2)

主催: 秦野市立本町公民館 tel84-5100



河村監督登壇!!